



発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長

山元町教育委員会

教育長 菊 池 卓 郎

皆様には、日頃から、仙台南地区租税教育推進協議会に対しまして、深い御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の座談会は開催を見送らせていただきましたが、研究発表会は感染症対策を徹底して開催することができ、2年ぶりに実践報告書発刊の運びとなりました。

本協議会は、昭和62年の設立以来、税務及び教育関係者が協力して、児童・生徒並びに社会人に対する租税教育を推進し、納税意識の高揚を目指して連絡協調を図ることを目的に、事業を推進してまいりました。

歴史ある「租税教育研究発表会」開催への関係各位の御高配に対し、深く感謝申し上げますとともに、長引くコロナ禍にありながら、租税教育に取り組んでいただいた学校及び教職員の皆様に心から敬意を表する次第です。

租税教育は、次代を担う児童・生徒が、税を通じて国や社会の仕組みを知り、社会を支える租税の意義・役割を正しく理解して、将来、納税者として社会に貢献する意識を育む大事な教育ですが、学校においては取り立てて行わなければならない、授業時数の確保やねらいに迫る手だてなど工夫が必要になります。

今年度は、名取市立増田西小学校、岩沼市立岩沼北中学校、亘理町立逢隈小学校、山元町立坂元小学校の4校が租税教育に取り組み、発表会において、担当した先生方から指導に当たって工夫したことや子供たちの様子、成果などが紹介されました。

特に、指導の成果として、どの学校からも児童・生徒の税に対する考えに大きな変化が見られたこと、税金の使われ方に対する関心が高まったことが報告され、改めて実践の意義を確認したところです。

各校の先生方には、お忙しい中、租税教育の実践に加え、研究発表のための資料作成や準備に注力し、すばらしい発表を行っていただいたことに感謝申し上げます。この実践報告書を通して租税教育の輪がさらに広がり、子供たちが起点となって租税の意義・役割が正しく周知されていくことを期待いたします。

結びに、本報告書発刊に御尽力いただきました仙台南税務署の皆様にも心から感謝申し上げますとともに、関係各位の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念し挨拶いたします。

令和4年3月